

V 研究開発の実践状況

1 研究開発の重点とその実践

(1) 学校設定科目「SGH 課題研究」の研究開発

- ・前年度「SGH 課題研究 1」～「SGH 課題研究 3」の省察に基づく改善とその実践。
- ・外部関連機関と連携した「SGH 課題研究」の展開・カリキュラム開発。

- ・前年度「SGH 課題研究 1」「SGH 課題研究 2」の省察に基づく改善とその実践は、【Ⅲ 仮説に基づく研究開発の内容】を参照。
- ・大学及び企業との連携強化に関わって、今年度本校から職員が企業や研究室を訪問したか、あるいは御来校いただき、「課題研究」推進に関わって指導を仰いだ企業関係者・大学研究者は以下のとおり。

(1) 大学関係

※訪問順

所属	職名等	氏名
滋賀大学国際センター	教授	森 宏一郎
名古屋外国語大学	事務局長	太田 恵雄
名古屋外国語大学	庶務課長	児玉 通夫
名古屋外国語大学	広報企画室	大野 秀明
名古屋外国語大学現代国際学部	教授	佐藤 都喜子
名古屋外国語大学現代国際学部	准教授	竹内 慶至
岐阜経済大学	副学長	高橋 利行
岐阜大学工学部	学部長（教授）	村井 利昭
岐阜大学工学部	特任助教	川瀬 真弓
岐阜大学応用生物科学部	学部長（教授）	杉山 誠
岐阜大学応用生物科学部	副学部長（教授）	土田 浩治
岐阜大学応用生物科学部	助教	広田 勲
国際基督教大学	非常勤講師	高瀬 千賀子

(2) 企業関係

※訪問順

所属	職名等	氏名
大垣共立銀行	海外ビジネスアドバイザー	浅井 光寿
矢橋ホールディングス株式会社	取締役社長	矢橋 龍宜
矢橋ホールディングス株式会社	取締役	矢橋 龍樹
矢橋ホールディングス株式会社	総務部課長	山崎 貴敏
株式会社メイホーホールディングス	代表取締役社長	尾松 豪紀
株式会社メイホーホールディングス	管理本部 総務部 部長	高崎 真一
ムトー精工株式会社	管理部部长	金子 貞夫
揖斐川工業株式会社	総務課長	桐山 尚輝
ベルリッツジャパン株式会社	マネージャー	河合 孝

(2) 論理的思考力・表現力の育成を図る「言語技術指導」の研究開発

・前年度「言語技術指導」の省察に基づく改善とその実践。

- ・「言語技術指導」の授業展開・カリキュラム開発については、【Ⅲ 仮説に基づく研究開発の内容 2 論理的思考力・表現力の育成】を参照。

(3) 英語学習への意欲喚起と英語によるコミュニケーション能力の伸長に関する研究開発

・30年度実施内容の改善と成果発表の場としての各種コンクールへの参加。

・海外フィールドワーク（又は海外修学旅行）を通じた海外の高校生との共同研究の実施検討

- ・平成30年度実施内容の改善については、【Ⅲ 仮説に基づく研究開発の内容 3 英語コミュニケーション／英語授業改善等】を参照。
- ・各種コンクール参加及び実績については以下のとおり。
 - 第43回ライオンズ海外派遣高等学校英語弁論大会 4位、団体優秀賞
 - 第12回岐阜県高等学校スピーチコンテスト西濃地区大会 優勝、3位
 - 第12回岐阜県高等学校スピーチコンテスト岐阜県大会 2位、3位
 - 第17回岐阜県高校生英語ディベート大会4名参加 3位 エクセレントディベーター賞
- ・海外フィールドワーク（又は海外修学旅行）を通じた海外の高校生との共同研究の実施については、【Ⅲ 仮説に基づく研究開発の内容 4 海外フィールドワーク（カンボジア・ベトナム）】を参照。
- ・JENESYS2018及び日中植林・植樹国際連帯事業 平成30年度中国高校生招聘事業の一環としての学校交流
日時：平成30年12月7日 10:30～16:30
訪問者：湖北省黄梅县第一中学の生徒15名、湖北省宜昌市夷陵中学の生徒15名
内容：代表生徒による歓迎会（1時間）
 - 1, 2年生各クラスへの授業参加（1時間）
 - 1年生との英語によるインタビュー授業（2時間）及び部活動見学

2 研究交流

・全国の研究指定校と実践交流を行う。

- ・本校発表会における参加校職員との交流（12月12日）

関はじめ県内高等学校

【発表会参加】

- ・名城大附属高等学校発表会【SGH校】（11月11日：生徒3名、教諭1名）
- ・東京学芸大附属国際中等教育学校【SGH校】（6月23日：教諭1名）
- ・スーパーグローバルハイスクール全国高校生フォーラム ポスター発表参加
（12月15日：生徒3名、教諭1名）
- ・SGH甲子園（3月23日 ポスター発表2名、ラウンドテーブル型ディスカッション1名）

【視察】

- ・岐阜県立斐太高等学校 SGH発表会【県指定SGH】（1月31日：教諭2名）
- ・岐阜県立岐阜商業高等学校 SGH発表会【県指定SGH】（1月31日：教諭2名）
- ・岐阜県立関高等学校 SGH発表会【アソシエイト校】（2月20日：教諭1名）

- ・岐阜県スーパーハイスクールセッションへの参加（計4回のセッション）（管理機関主催）
県内のスーパースクール指定校が集まり、協働して「岐阜県の課題解決策」を提案する取組。
参加校：SSH（恵那高等学校）
：SPH（大垣桜高等学校、岐阜工業高等学校）
：SGH（大垣北高等学校、関高等学校）
：県指定SGH（斐太高等学校、多治見北高等学校、岐阜商業高等学校）
：FSH（岐阜高等学校、岐山高等学校、大垣東高等学校、吉城高等学校、岐阜農林高等学校）
- ・岐阜県SGH校合同発表会（12月26日：生徒18名）（管理機関主催）
県内のSGH校（本校、アソシエイト校、県指定校計5校）が集まり、各校の取組や探究実践の発表を行った。また、外部有識者をアドバイザーとしてディベート型ワークショップを行った。
参加校：SGH（大垣北高等学校、関高等学校）
県指定SGH（斐太高等学校、多治見北高等学校、岐阜商業高等学校）
(ディベートアドバイザー)
京都大学大学院総合生存学館 特任教授 山崎 節子
国際基督教大学 非常勤講師 高瀬 千賀子
国際協力機構 シニア・アドバイザー 井上 健
任意NGO “地球市民の平和塾” 主宰者 登丸 求己
ミャンマー日本・エコツーリズム 会長 藤村 建夫

3 研究成果の普及

- ・学校行事において成果発表。成果発表会を開催（生徒も研究成果を発表）。
- ・進捗状況のHPでの公開。

- ・SGH事業の普及目的に、本校文化祭の企画の一環として、保護者を対象にポスター発表会を行った。1年生は成果発表として上半期に行った「高山フィールドワーク」の活動報告をおこなった。また、昨年度海外フィールドワーク参加者に、海外フィールドワークと現在の探究活動の関連についての実践報告を行った。
- ・12月12日（水）に実施した2年生のSGH発表会を2年間の集大成として公開した。生徒の成果発表の他、本校の取組を紹介した。参加校：県内各高等学校
- ・管理機関主催の合同発表会において、本校生徒によるSGHの取り組み概要の説明と、探究実践報告を行った。

SGH 通信発行実績【 全体配付 】

月	日	対象	号	タイトル・内容等
6	6	全校	1	H30年度「SGH校外研修」について
10	19	全校	2	岐阜大学工学部・応用生物科学部との連携プログラムについて
10	22	全校	3	グローバル講演会の案内・講師紹介
10	24	全校	4	グローバル講演会後の座談会の案内
1	25	全校	5	SGH甲子園の案内
2	4	全校	6	海外フィールドワークの報告 1～4

SGH 通信発行実績【 1・2年生配付 】

月	日	対象	号	タイトル・内容等
4	13	1年生	1	SGH とは？ 本校が目指す姿 など
5	11	1年生	2	SGH 探究1 ローカル課題探究について
5	21	1年生	3	H29 海外フィールドワーク参加者からのメッセージ①
5	25	1年生	4	岐阜県データ講座について
5	28	1年生	5	H29 海外フィールドワーク参加者からのメッセージ②
6	8	1年生	6	高山フィールドワークについて
7	9	1年生	7	岐阜県の課題調査について
9	7	1年生	8	岐阜県の課題調査クラス発表会までの流れについて
9	28	1年生	9	10月からの予定 グローバル講演会について
10	12	1年生	10	SDGs とは？
10	26	1年生	11	グローバル課題探究の流れと、持続可能な開発に関する講演について
11	12	1年生	12	仮説の立て方について
12	7	1年生	13	日本語論文作成の流れについて
4	11	2年生	1	「SGH 課題研究2」について
4	27	2年生	2	校外研修（県内高校交流活動）について
5	8	2年生	3	今後の予定について
5	11	2年生	4	ワークショップ（滋賀大学連携）の内容について
5	23	2年生	5	課題研究の予定、日本語論文作成スタート号
5	30	2年生	6	「東京大学北村友人准教授講演会」について
6	6	2年生	7	リサーチクエスションと仮説について
6	13	2年生	8	研究計画書について
7	10	2年生	9	「ゼミ形式授業（7月）」について
8	29	2年生	10	日本語論文の作成について
10	3	2年生	11	プレゼン講習会について
10	29	2年生	12	学年発表会に向けて
10	31	2年生	13	日本語論文の提出について
1	9	2年生	14	「英語エッセイ、英語プレゼン」について